

平成 22 年 9 月 22 日

大学関係者各位

第 25 回私立大学職員「人間ネットワーク」運営委員会

## 第 25 回 私立大学職員「人間ネットワーク」(10/16 愛知開催)のご案内

謹啓、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私ども私立大学職員で構成する私立大学職員「人間ネットワーク」は、従来の提供型の研修会ではなく、参加者の相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士の意見交換により一人一人の自己啓発を促すことを目的とした研修グループです。本会は、別添のとおり設立趣旨に基づき活動を続けておりますが、会を重ねる毎に本会の趣旨に賛同し参加いただく方が増え、本会が目指すところの、“大学職員のための情報交換機能を有し、且つ人と人とのつながりを大切にする”という理念が拡充しつつあり、益々「人間ネットワーク」の名にふさわしいものとなってまいりました。

21 世紀を向かえたものの、社会情勢は日々混沌としております。故にキーワードのひとつとして今世紀は“心の時代”とも言われており、そうした世情の中にあって、我々大学が抱える問題も益々複雑かつ多様化し、大学の未来に向けて職員一人一人の資質が今以上に問われることは必至となる状況となってまいりました。そのような時代だからこそ“人と人とのつながり”を大切にし、より多くの方々の英知を結集し問題解決への手がかりとなる場が必要であると考えます。

何卒本会の趣旨をご理解いただき、本会への参加は大学職員としての資質向上の場であると位置付けて、職員研修の一環に取り入れて頂ければ幸いです。開催要項は別紙のとおりですので、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、多数のご参会をお待ち申し上げますとともに、貴学が益々発展されますようご祈念申し上げます。

謹白

## **【私立大学職員「人間ネットワーク」の概要】**

### 【設立趣旨】

全入時代を迎え、これからの私立大学のあり方を模索する中で、大学を構成する一員としての事務職員も、日本の大学における激動の時代に対してどのように理解し対処すべきかを個々が所属する大学内だけで考えるのではなく、言い換えれば従来の“本学”意識から脱却して、各私立大学職員の相互理解を深めることが不可欠であると考え。故に、各私立大学職員同士が今まで以上に自由に、そして活発な意見交換ができる環境が必要である。

したがって、私ども私立大学職員で構成する私立大学職員「人間ネットワーク」は、従来の情報提供型の研修会ではなく、参加者の相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士の意見交換により一人一人の自己啓発を促すことを目的とした研修グループを目指すものである。毎回取り上げるテーマに関して種々意見交換を行えば行うほど、21世紀に向けて我々私立大学が抱える問題が複雑かつ多様化してきていることを痛感するばかりである。であるが故に、もう個々の大学における教員組織だけで直面する問題に対して思考し解決していくという状況ではなく、日本の私立大学が大学間の垣根を越え真剣に議論し、協力し合う時代の到来であると考えた時、職員は職員の立場で“大学職員”による“大学職員のため”の情報ネットワークが必要であり、そのために私立大学職員「人間ネットワーク」の活動が不可欠であると痛切に感じるのである。

したがって、より多くの大学職員の方々にお集まりいただき、共に英知を出し合いながら問題解決への手がかりとなればと考える。私ども私立大学職員「人間ネットワーク」は、私立大学が健全に共生できるための大学職員による活発な意見交換の場と成りうることを目指し、より多くの志を同じくする大学職員の方々にお集まりいただきたいと切に考える。

## 【これまでの活動履歴】

	開催地	開催日	会場校	主な討議テーマ
第1回	愛知県	平成10年12月		21世紀に向けての私立大学職員ネットワークのあり方について
第2回	東京都	平成11年6月	日本大学理工学部	履修登録システムの事例報告
第3回	京都府	平成11年12月	龍谷大学・京都外国語大学	FD活動についての現状報告
第4回	福岡県	平成12年7月	西南学院大学	病める学生達の心身ケアについて
第5回	神奈川県	平成12年12月	神奈川県立大学	「著作権」についての理解
第6回	兵庫県	平成13年6月	甲子園大学	「大学事務の情報化」
第7回	静岡県	平成13年12月	東海大学海洋学部	「学生支援」をテーマに多角的に検証
第8回	愛知県	平成14年6月	金城学院大学	今後の学籍のあり方とは
第9回	東京都	平成14年12月	明星大学	入学前提教育の諸検討
第10回	京都府	平成15年6月	佛教大学	これからの大学職員像とは
第11回	東京都	平成15年12月	大東文化大学	学生のキャリア形成について
第12回	岡山県	平成16年6月	ノートルダム清心女子大学	学生のキャリア形成について(続)
第13回	東京都	平成16年12月	桜美林大学	大学職員としての問題解決について
第14回	熊本県	平成17年6月	熊本学園大学	個人情報保護法への対応について
第15回	大阪府	平成17年12月	大阪工業大学	高大連携の現状と課題
第16回	新潟県	平成18年6月	新潟国際情報大学	地域の中の大学
第17回	福岡県	平成18年12月	九州産業大学	これからの大学職員像を考える
第18回	東京都	平成19年6月	大正大学	高等教育のデザインと大学人の役割
第19回	広島県	平成19年12月	広島国際大学	これからの学生支援のあり方と大学職員の役割
第20回	静岡県	平成20年8月	10周年記念大会	大学自主防災論
第21回	京都府	平成20年12月	京都文教大学	私立大学「働き場」のメンタルヘルス
第22回	福岡県	平成21年7月	西南学院大学	「カネ」と「教育」について考える」
第23回	東京都	平成21年11月	東京農業大学	「カネ」と「教育」について考える PART2」
第24回	岡山県	平成22年5月	就実大学	「大学職員力を考える」

## 第 25 回 私立大学職員「人間ネットワーク」(10/16 愛知開催)開催要項

### メインテーマ:大学職員力を考える PART2

#### - 運営委員会からのメッセージ -

第 25 回は、5 月に開催した第 24 回に引き続き、「(私立)大学職員力」について考えます。  
ここ数年間、人間ネットワークでは、自主防災論やメンタルヘルス、競争的資金の問題など、現在の大学を取り巻く環境について研修を行ってまいりましたが、今年度は、改めて人間ネットワークの原点である、“大学職員”その“力”というものに焦点を合わせ、議論を深めたいと思います。  
今回も「人間ネットワーク」の特長である、参加者同士の情報共有・相互理解に重きをおいた自己啓発を促すことを目的とした参加者主体での議論、その後のパネルディスカッションによる更なる深い議論の場を準備いたしました。  
なお、特筆すべきこととして、今回の締め括りに、高等教育界識者による「講評」を予定しております。

私たち運営委員会では、前回参加された方はもちろん、前回参加叶わなかった方及び初めての方すべての皆様の参加を歓迎いたします。研修を通して「考え、得た」ものをそれぞれの大学・職場へ持ち帰り、実践していくことを通じて、日本の高等教育がより現代という時代、学生にマッチした教育となること、また、そこに関わる大学職員の資質向上の一助となることを願っております。

#### 1. 開催日程 : 平成 22 年 10 月 16 日(土)

11:00 ~ 11:50	執行部会、理事会開催
11:30 ~	会員受付 1 号館 1 階エントランス
12:00 ~ 13:00	総会(会員以外の傍聴も可能です) 1 号館 3 階 131 教室
13:00 ~	受付(会員以外の方、研修会からご参加の方) 1 号館 1 階エントランス
13:30 ~ 14:00	開会(挨拶・進行説明等)
14:00 ~ 15:30	<b>第 1 部 《研修会》</b> 『(私立)大学職員力を考える』班別討議(90 分) (注)
15:30 ~ 15:40	休憩(10 分)
15:40 ~ 16:40	パネルディスカッション(60 分)
16:40 ~ 17:50	講評(識者による講評を予定しています)
17:50 ~ 18:00	総括・記念撮影
18:00 ~	移動
18:30 ~ 20:30	<b>第 2 部 《情報交換会》 【当日のお楽しみです】</b>

(注 班別は出席者によって事務局で編制いたします)

#### 2. 参加費 : (当日受付で徴収します)

研修会	会 員	無 料
	一般参加(会員以外)	1,500 円
情報交換会(会員、一般とも)		5,000 円(予定)

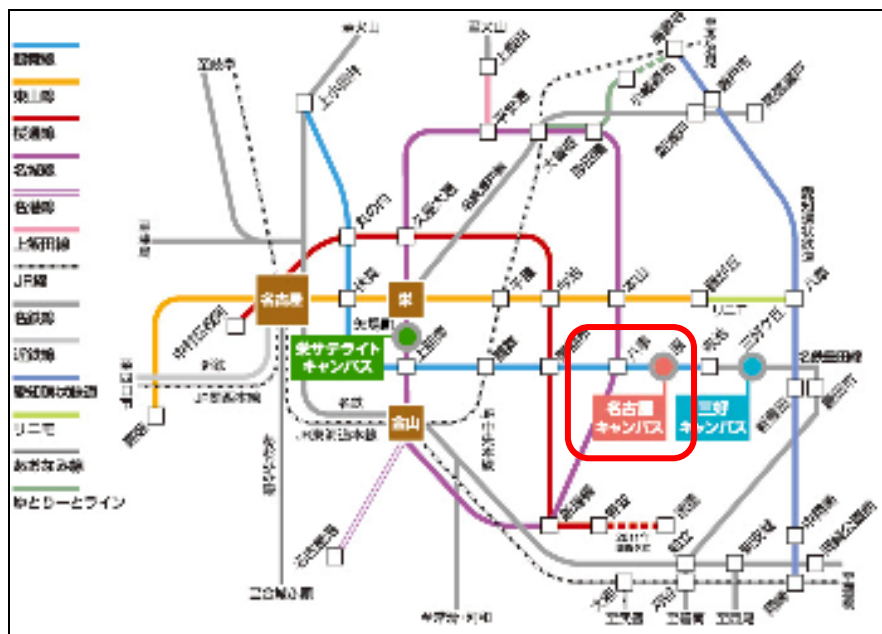
#### 3. 会 場 : 東海学園大学 名古屋キャンパス 1 号館 3 階 131 教室

所在地 〒468-8514 名古屋市天白区中平 2-901

TEL 052-801-1201(代)

## 【東海学園大学までのアクセス】

### 交通アクセス



JR山陽本線・地下鉄鶴舞線「原」駅下車徒歩約15分。

または、「原」駅で市バスに乗り換え、「平針南住宅」下車、徒歩約3分。

4. 宿泊場所：「ホテル名古屋ガーデンパレス」を本会の名称で仮予約していますので、各自で10/9(土)までにお申し込みください。  
なるべくガーデンパレスを御利用ください。(素泊り 6,699 円税込)

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目11-13

TEL(052)957-1022 FAX(052)957-1727

地下鉄「栄」駅・1番出口(西出口)より徒歩約5分(東山線・名城線)

5. 申込方法：参加ご希望の方は下記URLの参加申込フォームからお申込みをお願いいたします。参加費は当日受付で徴収します。

<http://spreadsheets0.google.com/a/po.kbu.ac.jp/viewform?hl=ja&formkey=y-dEtVUHJqQFdxV0IUQUpCUTg2R293MHc6MQ#gid=0>

**申込み締め切り：10月8日(金)**

<お問い合わせ>

私立大学職員「人間ネットワーク」企画主管

西坂正雄(龍谷大学情報メディアセンター事務部)

E-mail: masao(a)ad.ryukoku.ac.jp

(a)を@に置き換えてください

## オプションツアーのご案内

本会恒例となりました、研修翌日のオプションツアーを企画いたしました。

今回は、「名古屋港水族館&名古屋海洋博物館」の見学を行います。

名古屋港水族館は平成4年(1992年)にオープンした南館と平成13年(2001年)に完成した北館の2つの施設からできています。

南館の展示テーマは「南極への旅」です。それは名古屋を出発し南極に至る地球を縦断する旅の中で出会うさまざまな海の環境を5つに分け、「日本の海」「深海ギャラリー」「赤道の海」「オーストラリアの水辺」「南極の海」の飼育展示です。ここではそれぞれ大変異なった環境に適応し生きているさまざまな生命に出会えます。

北館の展示テーマは「35億年はるかなる旅-ふたたび海へもどった動物たち」です。悠久な生命進化の歴史の中で、水中生活に適応し素晴らしい知性を発達させ、陸上の人間の地位にも匹敵するといわれる海洋の生活者である鯨(くじら)の世界を、さまざまな手法を用いて紹介しています。

名古屋海洋博物館では、名古屋港と背後地産業や市民生活との関わりについて代表的な取扱貨物の展示を始め、港湾技術の活用、ガントリークレーンの模擬体験等、見て、触れて、楽しんでいただける内容となっています。

(名古屋港水族館・名古屋海洋博物館HPより抜粋)



<http://www.nagoyaaqua.jp/>

**日程** : 平成22年10月17日(日)

**参加費** : 名古屋港水族館入館料2,400円+昼食代

**旅程** : 9:00 名古屋ガーデンパレスロビー集合  
9:45 名古屋港水族&名古屋海洋博物館見学  
12:30 昼食(レッドロブスター名古屋港店)  
14:00 名古屋港で解散(金山まで約30分)

必ず研修会参加申込み時と同時にお申し込み下さい。参加費は当日徴収します。  
旅程は予定です。都合により変更となる場合があります。